学校番号	3010

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校家庭「家庭基礎」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇座学はプリントを中心に学習する。教科書は資料を見るとき等に使用する。
〇調理実習、被服実習を効果的に行うため、２時間連続の授業を行う。その他の実習（車椅子体験、高齢者疑似体験、妊婦体験、揺さぶられ症候群体験、子育てに関するロールプレイ等）や、自分で考えるワーク、DVD 視聴などを取り入れ、２時間連続でも集中力が途切れないよう工夫している。
〇高校を卒業した後、一人の人間として、健康的で自立した生活を送り、また親として子どもとして、適切な行動や対処ができるように授業を構成している。

２　学習の到達目標

〇生活の自立。健康で安全な生活を送るための知識や技術を習得する。
〇高齢者の生活や健康状態、経済状況を理解し、適切な援助ができる。
〇児童虐待の要因や予防策を理解し、親になるために必要なスキルを身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	分野	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	被服 高齢者 家族 経済 住居 食物 保育	〇少子・高齢化について自分で調査する。〇実習に積極的に参加する。〇自分で考えて答えるワークには、指定された行数、文字数を十分に満たすよう答える。	〇高齢社会の課題と解決策について考え発表する。〇就労における法律と現代の日本の課題について自分で考える。〇自分にとっての“良い住まい”について考える。〇児童虐待を自分がしないためには、どうすればよいかを考える。	〇生活に最低限必要な裁縫技術を習得する。〇車椅子の適切な介助を習得する。高齢者の心身の状況に合わせた介助を習得する。〇調理実習により調理技術を習得する。〇保育実習により保育技術を習得する。	〇高齢者の心身の状態や経済について理解する。〇現代の日本の家族のあり方や法律について理解する。〇家計の成り立ちや税金、生活にかかる費用、悪徳商法や借金などについて理解する。〇健康的で安全な住生活の営みについて理解する。〇住居の借り方や建築基準法などを理解する。〇健康で安全な食生活について理解する。
評価方法		〇授業態度 〇実習時の真摯な取り組み 〇プリント記入の内容〇提出物の提出状況等	〇発表時の積極性 〇自分で考えて解答するワーク・プリントの内容〇自己評価　等	〇高齢者実習、被服実習、調理実習、保育実習での動き　等	〇定期考査 〇授業の観察 〇プリント・ワークシートの内容　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容 【】は座学以外	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	被服	被服実習 【エプロン製作】	○	○	○	○	a:私語等なく集中できたか b:自分の個性を表現できたか c:指示どおりの縫い方ができているか、時間内に集中してできているか d：縫製技術に関する知識を習得できたか	授業観察 製作物 自己評価 定期考査
5月	高齢者・家族	・認知症や寝たきりなどの心身の状況 ・介護保険制度 ・年金等経済状況の理解 ・【車椅子実習】 ・【高齢者疑似体験】 ・家族の法律、家族の形態	○	○	○	○	a:実習は安全に配慮し真面目に取り組めたか b:高齢者に関する課題と解決策について積極的に調べ発言したか c:正しく介助できたか d:学習内容を正しく理解できたか	授業観察 定期考査 プリント・ワークシートの記述、グループワークでの積極性 自己評価
5月～6月	家庭の経済	・家計の成り立ち ・税金 ・悪徳商法とクーリングオフ【DVD 視聴】 ・借金と債務整理【DVD 視聴】 ・クレジットカードの使い方 ・労働基準法、ブラック企業	○	○		○	a:自分で考えるワークに十分な質と量で記述できたか b:就労に関する問題について自分で十分に考えたか d:学習内容を正しく理解できたか	授業観察 定期考査 プリント・ワークシートの記述、グループワークでの積極性 自己評価
6月～9月	住居	・借家の借り方【DVD 視聴】 ・住居の選び方 ・安全な住居(ハウスダスト、シックハウス症候群、地震対策、盗難対策など)	○	○		○	a:ワークやプリントに十分な量と質で記述できたか b:自分にとって良い住まいについて意見をまとめられたか d:学習内容を正しく理解できたか	授業観察 定期考査 プリント・ワークシートの記述 自己評価
9月～11月	食物	【調理実習】調理技術(切り方、計り方、煮る・焼く・蒸す、などの調理法)の習得 ・和食、洋食、中華の特徴 ・5 大栄養素 ・食品群別摂取量の目安 ・献立の立て方 ・食品ロスやフードマイレージなどの今日的課題	○		○	○	a: 安全に留意しながら積極的に実習に取り組めたか。 c: 正しく調理技術を習得できたか d:正しく食物に関して知識を習得し、理解ができたか	授業観察 定期考査 プリント・ワークシートの記述、グループワークでの積極性 自己評価

11月～2月	保育	・避妊、中絶【DVD 視聴】 ・出生前診断と障がい ・妊娠の経過と産褥期の過ごし方、産後うつ【DVD 視聴】 ・子どもの発達【DVD 視聴】 【沐浴・紙おむつ体験・妊婦体験実習】 ・揺さぶられ症候群【体験実習】【DVD 視聴】 ・眠育：赤ちゃんの睡眠の特徴・正しい睡眠・生活リズムについて学ぶ ・子どもの遊び：ゲーム依存にさせないための方策を学ぶ ・成育歴の振り返り ・コモンセンスペアレンティング（体罰しない躾の方法） ・親子の会話【ロールプレイ】 ・児童虐待の要因【DVD 視聴】	○	○	○	○	a：興味関心を持って授業に取り組めたか b：児童虐待を自分がしないためにどうすれば良いかについて、良く考えられたか c：子どもを適切に養育するための技術を習得できたか d：学習内容について、正しく理解できたか 児童虐待の加害者に自分がならないための知識を習得できたか	授業観察 定期考査 プリント・ワークシートの記述、グループワークでの積極性 自己評価

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。